

館報

おおくま

おもな内容

- 2面……部落公民館の活動報告
- 3面……清流
- 4面……学級・講座生募集のお知らせ
- 5面……スポーツ傷害保険更新期です
- 6面……映写技術研修会
- 7面……親子読書会に参加してみませんか
- 8面……文芸
- 9面……みんなのひろば
- 10面……町史探訪・編集後記

発行編集 大熊町公民館
印刷所 新栄社写真美術印刷機



卒業

中学校生活 もう終わってしまった
卒業なんて 少し早すぎたと思
わない
やだ！ 卒業なんて……
三年間 楽しかった…… 楽し
ろあった……
この校舎内に「私の足あと」ここ
にいるかな？
「私の足あと」ここにはいる
の？
「私の指紋」ここにはいるの？
「私の声」ここにはいるの？
もう 私は いないな
後輩とも さよならだ……
自分の影を光ととも「おんじり
いきたい
この大熊中に……
あおげば じいじ
わがしのおお おんえの……
卒業が いま
涙がでる
涙があふれるばかり……

大熊中卒業生 武内かね子
写真は三月十四日、大熊中
学校の卒業式。先生と握手
を交わし別れを惜しむ卒業
生。

部落公民館の活動報告

急激な社会構造の変化、家族環境にも変化が生じているとき、部落公民館が推進母体となり、公民館の指導をうけ、活動内容を充実し、地域ぐるみの活動を通して文化の向上、体力の増進、人と人との心の交流に部落公民館の果たす役割は益々その度を増すものと考えられます。本年度の事業内容は、

- 一、青少年の健全育成
 - 1. 在学青少年の組織化
 - (1)子ども会 (2)育成会 (3)スポーツ教室
- 2. 在学勤労少年の社会参加
 - (1)球技大会 (2)町民体育祭参加
- 三、成人学習所の設置
 - 1. 各種講座の開設
 - (1)親子読書会 (2)老人向講座
 - (3)婦人学級 (4)料理教室 (5)家庭教育学級
 - 2. 各種講座
 - 3. 視聴覚器機利用技術講習会
 - 4. 部落公民館長研修会
 - (1)昭和五十七年度第一回研修会 五月二十四日
 - (2)第二回研修、相馬郡鹿島公民館 九月二十八日

九チーム参加(室外)
(3)第三回研修 二月二十八日
①実績報告 下野上一区、小良浜区

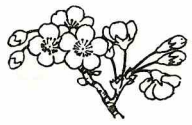
②指導講演 相双教育事務所社会教育指導主事佐藤義光先生
※内容 (1)地域の連帯感を育てる。
(2)心と心のつながりを深め地域のよさを知る。
(3)各年代、機能的にリーダーを選び出す。
次に部落公民館活動の状況を列記し各館新年度事業に生かしていただければ幸いです。

○中屋敷公民館長 菅野忠道
高齢者の清掃作業
○野上一区公民館長 木田重光
新旧役員の事務引継。老人の血圧測定。子ども会行事として、海辺にて理科の研究。
○野上二区公民館長 吉田和男
子ども会行事。高齢者映画教室
○野上三区公民館長 渡辺典郎
歩こう会。少年ソフトボール大会。共同合宿。小運動会。親子の芋煮会。敬老会。法令講習会。クリスマス会。卒業入学激励会。

○野上四区公民館長 佐久間正之
民謡、舞踊研究会。料理研究会
塩分料理実演会。血圧測定。班対抗ソフト、バレー大会。正調諏訪太鼓盆踊大会。小運動会。諏訪神社楽研修会。編物研修会。
○下野上一区公民館長 松本幸一
農事研究会。和牛研究会。山神講。老人クラブ。婦人会。女人講。親子読書会。舞踊。民謡。謡曲。ラジオ体操(部落民参加)図書棚備付。
○下野上二区公民館長 泉田博隆
少年ソフト。班対抗ソフトボール。壮年ソフトボール。家庭バレー。ママさんパトロール。子ども花火大会。交通安全法令講習会。防犯ソフト大会。
○下野上三区公民館長 池田光雄
料理教室。盆踊大会。二宮神社祭典。手芸教室。料理教室。生花教室。
○大川原第一公民館長 関川徳雄
少年球技大会。大川原区対抗球技大会。盆踊り。映画会。
○大川原第二公民館長 馬辰辰衛
少年ソフトボール大会。花いっぱい運動。防犯懇談会。盆踊大会。芋煮会。部落対抗球技大会老人ゲートボール大会。
○熊一區公民館長 牛来秀孝
航空防除打合せ会。盆踊保存会
○熊二區公民館長 坂本栄
道路測溝清掃。空缶拾い。少年ソフトボール。班対抗ソフトボ

ール。バレーボール大会。小学生レクリエーション盆踊大会。料理教室。子ども育成会。手踊教室。部落対抗野球大会。
○町区公民館長 中野孝重
花園作り。少年ソフト大会。盆踊大会。親善ソフトボール大会。生花教室。料理教室。凧作り教室。
○小良浜公民館長 荒盛政
少年ソフトボール。花いっぱい血圧並びに味噌汁塩分測定。民謡教室。料理講習会(お盆、おせち料理)。壮年ソフト、バレー大会。小良浜、熊川合同運動会
○熊川公民館長 宇佐見英郎
少年ソフトボール大会。熊川、小良浜班対抗ソフト、バレー大会。獅子舞保存会。熊川、小良浜合同運動会。
○野馬形公民館長 幾橋義男
部落スポーツ大会。老人クラブ花いっぱい。婦人料理教室。漬物講習会。ソフトボール、バレーボール大会。
○小入野公民館長 石井富雄
映画教室。盆踊大会。交通安全防犯映画会。料理講習会。家庭教育学級。着付講習会。
○大和久公民館長 清水正人
老人クラブ総会。民謡教室。球根植付。老人クラブ旅行。少年ソフトボール大会。岩ノ子清遊部落対抗ソフト。クローケー練習ゲートボール大会。舞踊教室。

○夫沢一区公民館長 浜本正幸
少年ソフト。神楽奉納会。班対抗ソフトボール大会。料理教室
○夫沢二区公民館長 杉本正衛
虫供養。ソフトボール大会。じやんがら念仏保存会。分館長杯対抗ソフトボール。老人向交通教室。ゲートボール大会。保存会研修視察。
○夫沢三区公民館長 佐々木喜英
納税組合総会。農事講習会。婦人部衣類展示会。バレー大会。
以上二十一部落公民館の年間行事を羅列しました。町部落での親子凧上げ大会を紹介します。手作りの凧作り。対象小学生、部落民、講師木村玄先生、一月五日作製、一月八日大会、三十名参加、一位武内宗典、二位赤井誠、三位福田洋一、少年非行が毎日報道されております。共に仕事をし理解する場をつくり非行防止に資したいと思います。各部落共新年度事業は公民館長を中心に各部落の団体が共同の場として活用し部落公民館を文化面、体育面にそれぞれに力を合わせ、そだてていかれるよう期待いたします。



家庭教育学級報告

現代社会、家庭環境の激しい変化の中で、数多くの家庭教育上の課題があり、家庭教育に関する学習を一層進めることが必要である。乳幼児期は人格形成の基礎が定まる重要な時期である。子どもの教育に果たす親の役割が大きいので、幼児をもつ両親を対象として次の学習課題を設定し一年間通して学

- 習をしてきました。
 - 一、新しい家庭について
 - 二、子どもの健康と栄養
 - 三、親の教育上の責任と役割
 - 四、子どもの読書
 - 五、子どもの心理と導き方
 - 六、家庭における道徳教育
- 主題を列挙しましたが各講師の先生のそれぞれの立場からご指導

いただき講話の中から家庭にもちかえられ実行にうつさされている学級生が数多くおられれば幸甚と思えます。

〇明るい家庭とは、

1. 健康であること。
2. うてばびびく「明るい返事」がかえってくる。
- ①「ハイ」 ②「おはようございます」 ③「ただいまかえりました」 ④「おやすみなさい」

夫婦、子どもの間に一生つづける家庭は一番幸福な家庭である

と。又これと反対に「わかったか」「わかったか」と念をおす母親、ある講師はこれを機関銃ママというよび方をし、子どもにとっては何がわかったか考える時間がない。このように結論をいそぐより考える時間を与える事が大切であると話しております。心すべきことではないかと考えさせられます。松本幸夫先生の「ほめ方」「叱り方」十か条がありますので参考にしたいだければ幸甚です。

- △ほめ方十か条▽
- 1. わからせてほめる。
- ただほめるのでなく、そのことをほめる。
- 2. 性格にあわせてほめる。
- 3. 口ぐせにほめない。
- 4. 努力をほめる。
- 5. 叱ってほめない。そのことをほめればよい。
- 6. 皮肉まじりでほめない。
- 7. みんなでほめる。
- 8. 感情的にはめない。理性的。物品を与えてほめない。
- 9. 人前であまりほめない。
- 10. 人前で方十か条▽
- 1. すぐに叱る。わすれないうちあつさり叱る。
- 2. わからせてから叱る。
- 3. 静かに叱る。
- 4. ほめてから叱る。
- 5. ほかのこゝまで叱らない。
- 6. 他人とくらべて叱らない。
- 7. みんなで叱らない。
- 8. 人前では叱らない。
- 9. 人前では叱らない。
- 10. かわいいから叱る。

清流

日本はいま戦後最も重大な時期に当面しているといわれています。毎日の新聞、テレビで見ると、毎日に厳しい競争世界を生きているように感じ、経済、外交の面で緊迫した多くの難題を抱えています。国内に於ては政治倫理の問題をはじめ、高度成長時代の繁栄にかげりが生じてその波及するところは広範にわたり人心の動揺はかくせない。政治への関心が高まるのは当然のことといえます。



大熊町明るい選挙推進協議会長 太田 四朗

明るい選挙推進のため

原則としています。このことは「国の政治的権威は国民全体から発する」ということであり、国家権力の主体は国民全体である」ということとあります。主権在民は既に周知のことではありますが、さて今回の選挙にあたっては我々個人個人が主権者である自覚をもって、しかも政治に参加するための投票権

国民代表の議会に、また行政の執行は内閣に委せる方法をとっています。(地方自治体も同様形式) 明るい選挙で自分達を正当に代表できる人に出てもらわなければ立派な政治はのぞめないと思えます。

本年は明るい選挙推進運動が組織的な国民運動として展開されて

として厳しいものがあります。そこでこの選挙の年を直接の契機として有権者一人一人が政治、選挙についての意義を改めて認識し立派な選挙を実現しなければならぬと思えます。

ここに明るい選挙を実現するために三つの提言を致します。

- 一、義理人情に左右されず自分自身で考え、最も適当であると信ずる人に投票する。
- 二、買収、供応に応じない。
- 三、棄権しない。

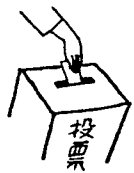
本年は参議員選挙をはじめ県議選、町長選、町議選等「選挙の年」といわれる大事な年であり

憲法は国を治める最高の権力が国民にあることを民主主義の

は義務ではなく権利であるとの意識に立ってのぞまなければならないと思います。

代表民主主義制をとる日本では投票によって自分達の代表者を選び法律案や予算の審議決定などを

三十年を迎えることになりました。この間徐々に運動の成果があらわれつつあるものの選挙違反の増加や投票率の低下、あるいは政治の倫理化を求める国民世論等明るい選挙活動をとりまく環境は、依然



みんなの願い

交通安全

学級生募集のお知らせ



公民館へ
あなたも
どっぞぞ

あなたの余暇を 生かして心を豊かに

公民館では、町民の皆さんの学習要望にこたえるべく、各種の学級・講座を開設していますが、新年度も内容を豊富にして開講します。

ならだれでも入れます。

高齢者大学

町内の多くの仲間と語り合い楽しい日々を送ろう。対象は六十五歳以上の学習意欲の旺盛な高齢者です。

茶道講座 (裏千家)

毎月三回木曜日、午後三時より午後八時まで小峰宗峰先生が指導します。

華道講座 (龍生派)

※昼間の部
毎週水曜日、午前十時より午後三時まで
※夜間の部
毎月第一・第三金曜日、午後五時より午後八時まで
古小高道子先生が指導します。

華道講座 (小原流)

毎月三回木曜日、午後三時より午後八時まで小峰宗峰先生が指導します。

詩吟講座 (東流吟峰会)

毎月第一・第三火曜日、午後六時より午後九時まで寺門吟狂先生が指導します。

民謡講座 (堀内流)

毎月第一・第三木曜日、午後七時より午後九時まで半谷捷一郎先生が指導します。

民謡講座 (桃波会)

毎月第二・第四木曜日、午後七時より午後九時まで今泉ヒデ先生が指導します。

書道講座 (書典会)

毎週土曜日(ただし第二土曜日は除く)、午後二時より午後四時まで池田昭雄先生が指導します。

書道講座 (玄和書道会)

毎週木曜日、午後六時より午後九時まで泉田輝陽先生が指導します。

書道講座 (墨誠書道会)

毎週金曜日、午後六時三十分より午後八時三十分まで一般成人を対象に井戸川碧水先生が指導します。

舞踊講座 (花柳流醍醐の会)

毎週火曜日、午後六時三十分より午後九時まで花柳寿桃翻先生が指導します。

短歌教室 (あゆみの会)

毎月第二土曜日、午後一時より午後三時三十分まで青田サダ先生が指導します。

俳句教室 (大熊俳句会)

毎月第三金曜日、午後六時より午後八時三十分まで猪狩哲郎先生が指導します。

珠算教室

毎週火・金曜日、午後二時より午後五時まで山田玲子先生が指導します。

手編み教室

※午前の部
毎週火曜日、午前九時三十分より正午まで
※午後の部
毎週火曜日、午後一時より午後三時まで
佐光美奈子先生が指導します。

コーラス教室

毎月第二・第四木曜日、午後七時より午後九時まで開きます。

手話教室 (ありんこ)

毎月第一・第二・第三金曜日、午後七時から午後八時三十分まで開きます。

なかよし教室

自発性、主体性、創造性豊かな活動を通し、明るく健康な少年の育成を図り地区リーダーの養成を図ります。年五回開催。対象者は町内の小学校五年・六年生です。

料理教室

すぐに役立つメニューです。菓子三回、中華三回、和風三回のコースの実習でだれでも入れます。

△受講申込み▽

受講希望者は、住所・氏名・所属学級・講座名を書いて、四月二十日まで公民館へ申込み下さい。その他不明の点は公民館(電話二〇六五番)へおたずね下さい。

—— 進んで学び 香り高い文化の
まちをつくりましょう ——

青年学級

若人が集い、研修やレクリエーション活動を通し、多くの仲間と人間関係を身につけよう。対象はおおむね二十五歳までの青年男女

若葉学級

明るい家庭づくりの基礎知識を身につける学習です。対象は若夫婦及び乳幼児をもつ母親です。

婦人学級

婦人としての教養を高める学習です。対象は一般家庭婦人です。

スポーツ傷害保険 更新期です

保険料等改定

この傷害保険は、スポーツおよび社会教育活動に伴う傷害事故の補償を行って、団員や指導管理者等が安心して活動できるようにするとともに、これら活動グループの育成および運営の円滑化を図る趣旨から創設されたもので、全国的規模をもった互助共済による傷害保険です。

なお、内容の改定がありますので以下のことを参照の上、早めに入手続きを取られるようお勧めします。

◆加入できる団体

スポーツ団体、および社会教育関係団体のうち、指導監督者を置き、十名以上の常時明確に把握されている団員で構成されている団体を対象とします。

◆保険の区分

第一種

A 義務教育終了前の児童および盲学校・聾学校・養護学校の生徒により構成されている団体

B

スポーツ活動以外の活動（文化活動・奉仕活動・軽スポーツ等）を行う団体

C

地域住民により構成されるマチュアスポーツを行う団体
例 ママさんバレークラブ、

第二種

早起き野球クラブなど。

A

山岳登山・スキングダイビング・グライダー操縦

相撲・空手・スキー・馬術

サッカー・柔道・硬式野球・サーフィン・合気道など。

剣道・銃剣道・スケート・卓球・軟式庭球・バレーボール・陸上競技・パドミントン・ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

ソフトボール・ゴルフなど。

区分	保険料(年間)	保 険 金 額		
		死亡 障害 後遺害金	入院 保険金 額	通院 保険金 額
第一種	A 320円 (340)	1,200 万円	3,700 円 (1,500)	1,000 円
	B 380円 (400)			
	C 1,000円 (680)			
第二種	A 18,200円 (9,600)			
	B 4,260円 (3,200)			
	C 1,600円 (1,530)			

◆この保険の対象となる事故
(1) 被保険者の所属する「団体の管理下」における活動中の事故

(2) 団体が指定する集合・解散場所と被保険者の住所との通常の経路往復中の事故

◆この保険で支払われる保険金

(1) 死亡・後遺障害保険金……被害の日から一八〇日以内にその傷害がもとで死亡したとき……一〇〇%
(2) 被害の日から一八〇日以内にその傷害がもとで後遺障害が生じたとき……その程度によつて三〇%～一〇〇%
(3) 入院保険金……傷害により医師の指示にもとづき入院したときに、事故の日から一八〇日を限度として保険金が支払われます。
(4) 通院保険金……傷害を被り

◆保険期間

加入手続完了の翌日の午前0時から、翌年の三月三十一日午後十二時までです。

◆加入受付期間

原則として三月一日から七月三十一日までです。

◆加入手続き

保険料分担金の送金と加入依頼書及び団員名簿(氏名・年齢・職業を記入)の送付の両方が必要です。用紙は公民館に準備してあります。

◆万一事故にあわれたときは

(1) 事故の通知……事故の日から三十日以内に事故通知をしなければなりません。
(2) 保険金の請求……傷害が治癒したのち、所定の保険金請求書を提出しなければなりません。

なお、必要用紙はすべて公民館に準備してあります。詳細については気軽に公民館へ問い合せ下さい。



図書あんない

※あたらしい本

気くばりのすすめ 鈴木健二
チョッちゃんが行くわよ 黒柳 朝

積木くずし 穂積隆信

老化はたべ物が原因だった B・フランク

勇者は語らず 城山三郎

女らしき物語 鈴木健二

自分学のすすめ 鈴木健二

髪がグングン生えてきた 大槻 均

探偵物語 赤川次郎

贈られた眼の記録 首野綾子

おぼけ文庫(全12巻)

母と子の図書室(全49巻)

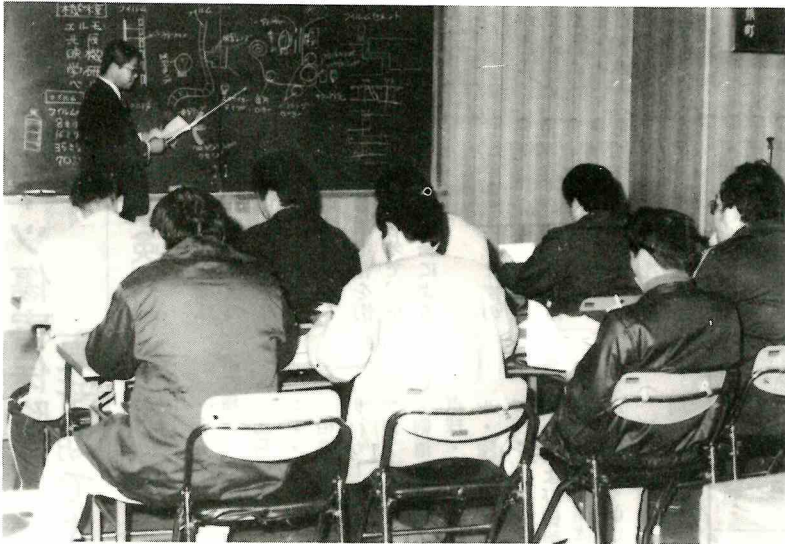
戦争の証明(全20巻)……ほか

※ご寄贈

次の方より図書を寄贈していただきました。お礼申し上げます。
渡部正勝氏(夫沢三区)
「結婚の四季」
ほか一般図書34冊

※利用

公民館図書は町内に住んでいる人や通勤、通学している人ならだれでも無料で利用できます。また、館外貸出、移動図書館による個人貸出、団体貸出も実施しています。詳しくは大熊町公民館へ
(二〇六五)



熱心に講義を受ける受講生

映写技術研修会

昭和五十七年度映写技術研修会が六月二十二日と十一月二十五日の二回、大熊町公民館において行われ部落代表四十名が受講した。この研修会は、部落公民館活動の中に視聴覚事業を取り入れ、より充実した活動を展開してもらおうという目的で大熊町公民館が主催して行ったものです。

研修内容は八ミリ、十六ミリ映写機の構造、取扱方法、フィルム、の接続方法等で、受講者は部落公民館長の推薦された者ということもあり熱心に受講し、短時間で技術を修得したようです。

この研修会を修了した者には、修了証書が交付され、大熊町公民館に備えてある映写機、フィルム

等、視聴覚機器の貸出しの使用が許可されることになっており、今後それぞれの部落において修了者の活動を期待したい。

次の方々が映写技術研修会修了者です。

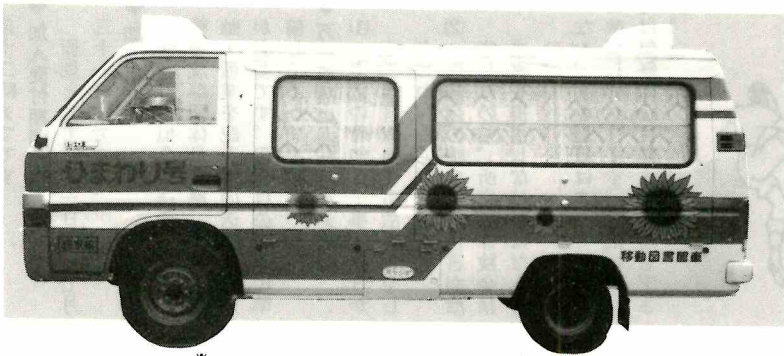
- 野上二区相原己彦 大川原区石田宗昭
- 野上一区紺野明久 大川原区石田洋一
- 野上二区木幡 仁 大川原区井戸川一雄
- 野上二区吉田正光 熊一區佐久間雄治
- 野上三区半谷博之 熊一區坂本一郎
- 野上四区佐藤博信 熊一區志賀安一
- 野上四区吉田幸治 町 区末永一夫
- 下野上二区愛場 誠 熊川区新長英一
- 下野上一区武内 豊 熊川区松本光清
- 下野上二区草野一也 野馬形区渡部 洋
- 下野上二区多門和夫 小入野区栃本信一
- 下野上二区古山隆雄 小入野区松本 一
- 下野上二区池田光秀 大和久区松本清司
- 下野上四区金子輝男 大和久区佐藤秀徳
- 下野上五区中島重郎 夫沢一區佐藤恒寿
- 下野上五区栃本政一 夫沢一區志賀一雄
- 下野上五区田沢憲郎 夫沢二區田主 守
- 大川原区渡部 剛 夫沢二區杉本正衛
- 大川原区横川公治 夫沢三区鈴内 上
- 大川原区北原秀一 夫沢三区佐々木安

貸出し

大熊町公民館では、部落公民館、行政区が主催する事業(青年会、婦人会等)で映画会等を実施する場合、大熊町公民館保管の映写機、映画フィルムの貸出しを行っております。ただし、映写担当者は昭和五十七年度映写技術研修会修了者が従事しなければなりません。

どこの部落でも簡単に映画会が開けまわしくは、大熊町公民館にお問合せ下さい。

移動図書館車ひまわり号



れている。

十月七日開かれた移動図書館車愛称選考委員会で二六九名の応募の中から「ひまわり号」と記載のありました次の十四名の方々に記念品の贈呈がありました。

- ※大野小学校
 - 三年一組 鈴木のり子
- ※熊町小学校
 - 一年一組 よしだじゅんこ
 - 二年一組 ながいまさみ
 - しんがいみゆき
 - 二年三組 中野 真
 - 梅田 享子
 - 三年二組 油井美香子
 - 渡辺 昭一
 - 大浦 健
 - 四年一組 平山 秀美
- ※大野中学校
 - 一年B組 よしだゆかり
 - 一年C組 泉水サツキ
 - 坂本さゆり
 - 高橋 順子

移動図書館車の利用

五世帯以上のグループをつかって申込み下さい。毎月楽しく、面白い本を移動図書館車ひまわり号でお届けします

公民館に移動図書館車を購入し一月八日納車されました。

図書館車は「いすゞ・エルフ・フラットローバン」を改造し、外架式書架を配し積冊数千冊の収容能力を有します。

移動図書館車の名称は、小・中学生の公募で「ひまわり号」とつけられ、ひまわりの絵が車に描か

親子読書会に参加してみませんか



親子読書会に出席して、特に思い感ずることは、会員総数に比して、出席者が非常に少ないということです。

お勤め、子どもたちの教育での行事、家族の事情、健康状態、いろいろ事情があることは、お察しして余りありませんが、この、よい集いに参加しないということは、かえらぬ時を無駄にしてしまっていることで、まことに、もったいないことと残念に思います。

貴重な時間を、さく事はできないと思われかもしれませんが、例えば、講師をお迎えして講義をお聴きする場合は、講師先生の身体からにじみ出る経験豊かな熟達したお話の宝庫で、親子の関係は如何にあるべきかの答を見い出すことを助けてくれます。そういう意味で、この時間は、親子にとって、非常に重要な時間となります。

特に五十七年度には、当読書会にとっても、画期的ともいえる、親子が共に、その創作に打ち込ん

で喜ぶ、手作り絵本の制作がありました。この制作の場は、まことに洗練として和気あいあい、楽園をみる心地でした。

こうした体験によって、創造と工夫の精神が養われることでしょう。その出来上がりは、例え稚拙であっても、自分の、しかも、親子が共に作ったものとして、楽しい思い出につながります。幼児期或は、学童期の、親の慈愛に基づいた、たのしい触れ合いは、将来の人格形成にも良い影響を与え、生涯忘れることのできない宝です。今、社会を震撼させる非行は、いずれからくるのでしょうか。

家庭内暴力は教育の場にまず蔓延し、教師がおののく世相となりました。一体、敬愛の精神はどこへいってしまうのでしょうか。社会のせいにしてはならない。親、生きるひとり、ひとりの自覚に着眼すべきではないでしょうか。視野をひろげた不断の努力こそ、少年たちを救う鍵ではないでしょうか。

少年たちを不健全な育みの犠牲にしてはならないのです。私は、公民館の読書会や、教育学級の場で、多くの事を教えられ、書ききれないほど教えていただきました。この場で得たものは大きく、感謝で一ばいです。私は

今、子どもを授かったらこう育てたいと思うことが沢山あって気もそぞろになります。しかし実際には子育ては、あまりにも難しい問題を提起しています。研究は無限だと自分自身を励まします。

自分の人生のみつめ方に努力します。この集いに参加する交わりは貴重な体験となります。交わりの中話合いと、実践と、反省があります。更にこの交わりが、きずなとなってお互いが親しくなり、やがて、地域に根ざした活発な活動は、親子読書会の香り高い花園に、優れた成果の実が、たわわに実ることでしょう。

交歓会に参加して



初めて青年学級生との交歓会に参加させて頂きました。親・子ども共バレーに汗を流し、そして青年との意見の交歓でした。私はまだまだ未熟なもの。勉強不足でも申し上げる資格はありませんが、

微々たる小さな意見の「コマ」を読んで下さい。親の意見は二度迄黙って聞くが三度目には少々反発といらいらが生じて来るという。二十歳以上になつてからは、子ばなれする親になつて欲しい。他家の息子との比較はしないで欲しい。結婚問題になりませんと、農家に来るお嫁さんが少なく非常に厳しい現状です。

青年達は親達とうまくやってくれるお嫁さんが欲しいと願っていました。親側からすれば嬉しい言葉ではありませんか。女子青年の間では、親との同居はいいけど、子どもが生まれる頃迄には、二人だけの生活を願っています。娘を持つ親からすれば、娘の希望を与えたいでしょう。又、もう側はそれを理解せねばならないこれらの時代でしょう。

いろいろな意見が出ました。青年諸君、あなたの家庭はあなたと親の間に決して溝を作らないこと。意見があわなくともよし。口論しけんかしてもよし。酒をのむのもいいでしょう。その後を大切にしてください。さっぱりとしたさわやかな親子関係になってほしい。その自信を持って欲しいと思ふ。ゆがんだ両車はどのように修理しても丸くおさまってくれませぬ。

自分の経験が間違いない少ない道を子どもに歩いてもらいたい親心が、結局、子ばなれのしない親が生まれるのでしょうか。時代の違い

があつてもそれなりの青春、希望があつたはずで。ですから伸びようとする若者の芽を上手に育てるのも親のつとめではないでしょうか。そうすれば親と子、姑と嫁の間はうまく行くのではないかしら。

今、お嫁さんを迎える家、又現在迎えている家では、朝ご飯を姑さんが火を入れる、それを頼りにしているお嫁さんはおりません私の考えですから、余り気にしないで聞いて下さい。お嫁さんに対するいたわりから生まれた微笑ましい事で、本当に有難い世の中です。でもちょっと待って下さい。女は家に入ると昔の言葉にありませぬ。女が古くなって立派な姑、一家の主婦になる階段には、やはり朝の仕度は初めから嫁さんが行うのが、自分の子どもを育てて行くのには大切ではないかしら。

時代の流れに自分をおまやかしてはいけないと思う。結婚して十年余、二男一女の子をもうけて、毎日の生活に追われて無我夢中で過ごしている。ふっと一息ついて思うのです。子ども達よ、お前達は私等の太陽です。息子よ、あたたかい大黒柱になつて欲しい。娘よ、時代の流れにおぼれてくれるな。女の進む道を立派に歩んで下さい。と。

婦人学級生 吉田キヨ子

文芸



詩

もうすぐ春が…

熊小六年 高橋寿美
 春がもうそこまでやって来ている
 あたり一面 春の日ざしで
 ポカポカあたたかい
 冬みんしている虫たちも
 土の中から
 今にもはい出しそうだ
 花も早く
 咲きたいなあと
 待ちわびているだろう
 もう春はそこまで来ている
 いろとりどりの
 きれいな花が
 咲きそろうのも
 もうすぐだ

ありがとう

熊小六年 時田詩織
 いま
 一番すなおに言える

「ありがとう」って
 時にはやっかいだった
 教科書やノート
 でも中学生になる今は
 わかれるのがつらい
 六年間のおつき合い
 「ありがとう」
 教科書さんたち

四月
 中学校の門をくぐる
 なんだかちよっぴり
 大人に近づいたような
 とくいな気持
 それでいて
 不あんな気持
 ま新しい制服や
 ま新しい教科書は
 私の心を
 おどらせることだろう

鳥

熊小六年 中山 薫
 大空を鳥が飛んでいる
 楽しく飛んでいる
 空を見上げると
 太陽が光ってまぶしい
 鳥はキラキラかがやいている
 どこからきた鳥だろう
 きれいな鳥だ
 きつとどこか遠い国から
 きたんだらう



短歌



本田 睦子
 しのびよる老を背中に感じつゝも
 鏡に向ひ赤き紅ひく
 小京都の俤残す高山のべむがら格
 子古き家並
 松野 和人
 白魚の網引く船か交信の声が陸ま
 でとどく朝風
 湯治場に喘息の児のひたすらに熟
 睡願ひし去年のいまごろ
 相田 美恵子
 積もる雪に枝守らむと雪吊の縄さ
 ばく作業の兼六園映る
 居すまひをただし賀状の筆はこぶ
 思ひ馳せつつひと日を過ぎぬ
 佐藤 祐禎
 崖に立ち寄する磯波見つつ居れば
 幼なき頃の遊び浮び来
 かなはざりし修学旅行を計りつゝ
 集ふ級友らの眼輝く

飯田 良江
 田の面に灸据へる如くいくつかの
 もみがらの小山煙棚引く
 ふるさとの上毛三山テレビに見ゆ
 二人目総理誕生故に
 吉岡 友子
 足元の泥を気にして夕食の買物済

ます仕事帰りに
 逢へばすぐ帰りの刻を聞く母よ孫
 の帰りが気になるらしく
 渡部 富久子
 心忙しく朝食とりつつまみたる
 菜漬はほのかな柚子の香匂ふ
 求め来し富山柿数個皮剥きて陽の
 あたる場所選びて干しぬ
 郡司 勝雄
 山家なる庭は秋の日照り映へて鑑
 の豆のはじけるを聞く
 鎌深き壺の三味の弾き語り替女の
 名残の余韻ただよふ
 鈴木 百合子
 この冬を焚きつく柴を束ね終へ戻
 る夕べの風は冷たく
 工場の窓より見ゆる冬木立音聞え
 ねど大きく揺るる

俳句



中山 安子
 日向ぼと噂の好きな媼いて
 餌を播いてすゞめ遊ばす日向かな
 猪井 静枝
 ゲートボール敗れて寒さ募りけり
 鉄橋の汽車の過ぐ音蝗追う
 川木 裕子
 日向てふ峽の一字柿たわわ

町民憲章



健康で楽しく働ける 豊かなまちを つくりましょう
 みんなで助けあい 明るいまちを つくりましょう
 きまりを守り 平和な住みよいまちを つくりましょう
 自然を愛し きれいなまちを つくりましょう
 進んで学び 香り高い文化のまちを つくりましょう



朝明けを高鳴く鴨や古都の宿
 鎌田 光子
 冬の雨こけしの館木の命
 冬枯れの谷にかゝれり虹の橋
 結城 千代子
 パーマして今年の暮れの迫りけり
 いつもとはちがう顔なり七五三
 郡司 美子
 干し柿に孫の手のびる日和かな
 相撲見る炬燵の位置の少しずれ
 隣家より児の咳聞ひ夕支度
 紅葉宿下駄の焼判幼児憶ふ
 木村 容子
 戦を語る宴の冬灯
 デパートにツリーの星よ人流る
 菅野 ミヨ
 原子の日記念行事の菊香る
 年の瀬もせまればチラズツシリと
 中山 貞夫
 瀬にかゝる師走の月はやゝ細
 寒月や語る人なき窓明り



西ドイツスポーツ視察記

町区 末 永 一 夫



シュトゥットガルトにて

西ドイツのスポーツ組織や施設は日本と比べものにならないほど整備されており子どもから老人までスポーツを生活の一部として行っていることとスポーツ組織の基礎である地域スポーツクラブが全国に約六万ありここで約一千七百万九十八万の国民がスポーツ活動を楽しんでいます。ヤーン式体操、そして今世紀はじめ英国から伝わってきた球技スポーツの伝統を受けついでこれらのスポーツクラブがドイツのスポーツの基盤といえます。これらの多種目のクラブ、単種目のクラブ、会員二百名以下の小規模なものから五千名以上の会

員を擁した超大型クラブと種々様々です。この中で競技スポーツは若い人に多く、万人のためのスポーツ(トリスラム運動百三十、スキー体操、ジャズダンス等)の国として現在進んでいる運動でクラブに加入していない人でも容易にスポーツを楽しむことができるし、この活動を六万のクラブの運動として取り上げ国よりの補助金によって運営していく方法をとっているすばらしい国である。

このほか体育館、プール、室内テニス場等すばらしい建物と全て暖房の入った施設には驚いたがや

雑感

熊川 KS生

近頃中学生の非行が目立っている。生徒が先生に乱暴し、先生が生徒を傷つけたり、生徒同志で集団暴行するなどテレビや映画のシナリオみたいだが、実際に起きているとは空恐ろしい気がしてならない。何がそうさせるのか彼らの心理を理解するのは難しいが、種々の不満のはけ口となって非行に走ってしまうのではないだろうか大勢で弱者をいじめその痛々しい姿を見て何も感じない冷酷な面があるのだろうか。彼らにも素直な中学生としての心があると願いたいしあると思っている。自分の行動を自制する事が出来ず一時的に爆発させてしまったと思いたいけれど、たとえ小さな子どもでも他

人を傷つけたとしたらかならず大人達は「してはいけない」と諭すだろう。集団生活で自我を通そうとすればかならず脱線するし孤立してしまう。もっと皆と協調していかねければならないと思う。

彼らとひと昔も違う私の中学生の頃にも、先生も手を焼く暴れ者はいたがケンカをするくらいで、自分の存在を意識してはしなかった。自分の行動で心根はやさしかったと思われるし、もつとのびのびしていた。時の流れだろうか、今は一定の型にはめ込まれているようかわいそうな気もするが、これからの長い人生も自分と自分を大切に過ごすべきと思うし、もしも横道にそれそうになったら自分で軌道修正していけばいいのではないか。後悔しないようなたのしい学生生活を送ってほしいと思う。

木枯らしにバスを待つ子ら：

今年、いつもの年より暖かく十一月の末に木枯らしが吹き始めました。

ちょっと用事があったので、小前のバス停留所の前を急いで通り過ぎようとしたと、学校から帰る子ども達がバスの停留所の近くの歩道にカバンを置き、吹きつける木枯らしにふるえているようでした。歩道で遊ぶ子ども。フェンスによじ登る子ども。少し離れた空地で遊ぶ子ども。子ども達はそれぞれにバスの来る時間を待っているようでした。

遠くにバスが見えて来ると、「バスが来たよ。早く。早く。」と大声で呼ぶ何人かの声。バスを待ちに待っていた子ども達が、わき目もふらずに駆けて来て、ランドセルを背負いながら、バスの中に消えていきました。子ども達の去ったバスの停留所には、木枯らしが相変わらず吹き荒れていました。

天候の悪い時は、近所の軒下で待つ子どもおるとい話も耳にしました。これから寒さも増し、時雪や強風の時など、簡単な待合室があればバスが来たからと、近所の軒先から走り寄って来る危険な姿も少なくなり、バス通学の子ども達を安心して見守ることが出来るのでは……。そんな思いにかられた一日でした。野馬形 一主婦

はり施設の管理費については参加者負担と国の補助金により運営しているということであったし、西ドイツ全地域にわたる施設は国の定めた基準(ゴールデンプラン)によって全て完了しているということでした。

又、スポーツ指導者に関する位置づけが明確化されており各種講習会等により資格が得られ身分が保障されています。クラブの中ではボランティア指導者の活動も西ドイツのスポーツ活動をささえている大きな要因と思われまます。生活等についてテレビは教育番

おもいやり

冷たい冬の足音が遠ざかっていく今日、私は現在自動車学校という初心運転者教育に携わっています。私もこの仕事について早くも七年の歳月が過ぎようとしています。昨年とても心うたれることがありました。それは耳と言葉が不自由な女性がこのハンディを乗り越えて見事自動車学校を卒業したことです。技能学科教習における会話は、すべてボランテアに

よる手話サークルの方々の協力を得て手話で行いました。私が専任指導で教習に従事したわけですが何ととっても手話は初めてで失敗の連続でした。でも何時間か過ぎるうちにボランテアの方に教えていただいた私の見様見まねの手話も何とか相手に分かるようになってきました。そんな訳で他の教習生の方達よりは、多くの時間がかかりました。その中でも本人が一番

苦労したのは、道路交通法規の解釈でした。手話には一つの動作で色々な意味を持つていますが単刀直入なのです。法規では「何々しなければならぬ」という言葉は手話では理解させるのが大変難しいのです。でも本人の心から運転免許を取得したいという真剣な努力と強い意志、またこの一人の女性の為に見ず知らずのボランテアの方々が、自分の仕事まで休んで世話して下さったおかげで当自動車学校を見事に卒業することが出来ました。今振り返って見

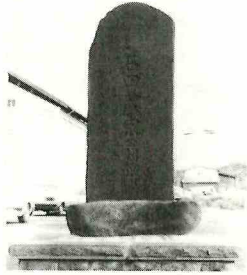
て思うことは、やさしさや、ほんのチョットの思いやりが忘れかけているこの頃、ボランテアの献身的な活動は私の心に子ども頃の素直な気持を思い出させるように暖かい春風が通り過ぎて行くのを感じました。

野馬形 渡部 洋
(富岡自動車学校勤務)



町史探訪

石田茂宗翁頌徳碑



この碑は大野駅玄関北西約五〇メートル、現農協駐車場の一角に建てられてある。昭和二十八年、斎藤正氏村長時代である

石田茂宗氏は大字大川原石田茂宗さんの曾祖父に当る先祖である大文豪志賀直哉の祖父直道氏、熊川半谷重一さん祖父重固

氏と茂宗氏の三人は兄弟である。したがって石田茂宗氏は志賀直哉の叔父に当たっている。

茂宗氏は大野村初代村長として十九年間務められた。当時は名誉村長で手当も少なくその出費は容易でなかったと聞いている。

明治三十一年常磐線開通したが近くに駅がなく地方民はその恩典に浴することがなかったため、茂宗氏は有志とともにその設置に尽力した。今日駅前発展の基礎は茂宗氏の努力によるものであるといつても過言ではない。

石田茂宗翁碑(表)

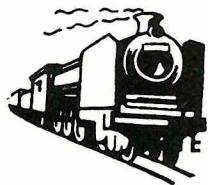
石田茂宗翁八天保四年四月六日
新山村志賀直庸氏ノ三男トシテ生
レ長ジテ大野村大川原石田自閑氏
ノ養子トナル 資性温厚外柔内剛

身ヲ修メ家ヲ齊フルニ謹嚴ニシテ
先躬行所信貫徹ノ人徳望近隣ニ
聞ユ 明治二十二年七月町村制施
行ト共ニ本村初代ノ村長ニ推サレ
明治四十年十二月迄実ニ五期ニ亘
リ村政統治ニ尽力シ其ノ功ハ枚挙
ニ遑非ズ 特ニ鉄路開設ノ議起ル
ヤ村内賛否喧喧タルモノアリシガ
翁ハ夙ニ趨勢ヲ洞察シ欣然鉄道用
地ヲ寄進シ地方発展ノ基点トシテ
之ガ実現ニ尽瘁シ所有障害ヲ克服
シテ路線ノ敷設ヲ見明治三十六年
村会議員ト共ニ停車場ノ誘致創設
ニ奔走シ遂ニ同三十七年十一月大
野駅ノ業務ヲ開始スルニ至ル 地
方民ニ幾多ノ利便ヲ供与シ今日ノ
駅前繁栄ノ基ヲ築キ将来ノ発展ヲ
約スルニ至リタルハ偏ニ翁ノ先見
ニ依ルモノト言フベキナリ 茲ニ
停車場建設五十周年祭施行ヲ機ト
シ翁ガ往季ノ遺徳ヲ偲ビ地方民ノ

浄財ヲ得之ガ頌徳碑ヲ建立ス
因ニ當時ノ大野村会議員ノ氏名
次ノ如シ(議席順)

- 佐藤 義信 武内 賢茂
- 門馬松五郎 小山軍之助
- 吉田 定保 石田 朝宗
- 石田 敬宗 木幡 清照
- 渡辺 薫綱 石川 義直
- 渡辺 知綱 堀川徳太郎

建立
松湖半谷書



編集後記

三月は卒業の季節でもある。父兄にとっても、卒業する子どもにとっても感激と安堵の月でもある。『喜びも悲しみも幾年月』であったことと思います。心からお祝い申し上げます。

卒業式。式も進み在校生の送辞、そして卒業生の答辞となるころから女子生徒の白いハンカチがしきりに動く。こらえてもこらえても流るる涙をどうすることもできずすすり泣く声すら聞こえてくる……
『仰げば尊しわが師の恩……』
卒業式の光景である。

卒業生の諸君よ、どんなに遠くはなれても、どんな高い地位についても故郷を忘れるな、そこには君たちを育ててくれたお母さんやお父さんが、そしてなつかしい山や川があるからだ。

昭和五十七年度は、町民の皆様から、たくさんの原稿をお寄せいただき、豊富な内容で編集できました。ことを厚くお礼申し上げます。新年度も引き続き紙面の刷新を図りながら、町民の館報として発行して参りますので、さらにご指導と鞭撻を賜りますようお願いいたします。

- 館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度です。
- 主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。
- 政治的な色彩を帯びたり、個人非難に属するものではないこと